

江差町の都市づくりを話しあう

町民ワークショップ

進め方

1. 目的・趣旨
2. 今回話しあう内容(テーマ)
3. 話題提供:江差町の現状、まちづくり町民アンケート結果
4. グループ討議
5. 結果発表

1. 目的・趣旨

ワークショップ形式の話しあいで得られたまちづくりの意見



まちづくりをトータルで考える

ハードな市街地整備の話題にとらわれず、幅広い意見を

江差町の今後のまちづくりに向けた計画に意見を反映

総合計画



都市計画マスタープラン
立地適正化計画

市街地や土地利用、都市の機能(住・商・工)や施設(道路・交通・公園等)の将来の在り方や実現方策を定めた計画



分野の計画
その他の

農林・水産業

商工業

観光

教育・文化

保健・医療・福祉

住宅・移住・定住

2. 今回話しあう内容(テーマ)～

【ワークショップのテーマ】

地域の“今”を知って、未来の江差町を考えよう！

江差のまちが皆さんの「住む」「働く」「交流する」など“暮らし”にどう関わるかを切り口に、現在どう感じているか、将来どうなってもらいたいのか、率直な意見をお聞かせください。

討議に入る前に・・・

『ワークシート』
を使って
自己紹介

- ・ 個人シートに「今の自分」「20年後の自分」を端的に記入
- ・ グループ内でシートを利用しながら自己紹介



グループ内で
役割分担

- ・ 進行役（1名）
 - ・ 模造紙とりまとめ役（1名）
 - ・ 発表者（1～2名）
 - ・ 意見の記入（全員）
- ※皆でサポート、協力しあいながら進めましょう！

4. グループ討議、 5. 結果発表

第1段階

『今の江差のいいところ、わるいところは？』

日頃の暮らしの中で感じていることを、キーワードや手短かな文章で記入

第2段階

『20年後の江差のいいところを考える』

例)

- こんな町になってほしい
- こんな町なら江差に住みたい
- こんな風に江差にかかわりたい
- こんな町を子供に残したい

第3段階

『20年後の江差を実現するために～まとめ～』

例)

- 江差に必要なもの
- 今の江差のいいところを残すには
- 自分には何ができるか

【作業例】

	今の江差	20年後の江差	実現するために
いいところ			
わるいところ			

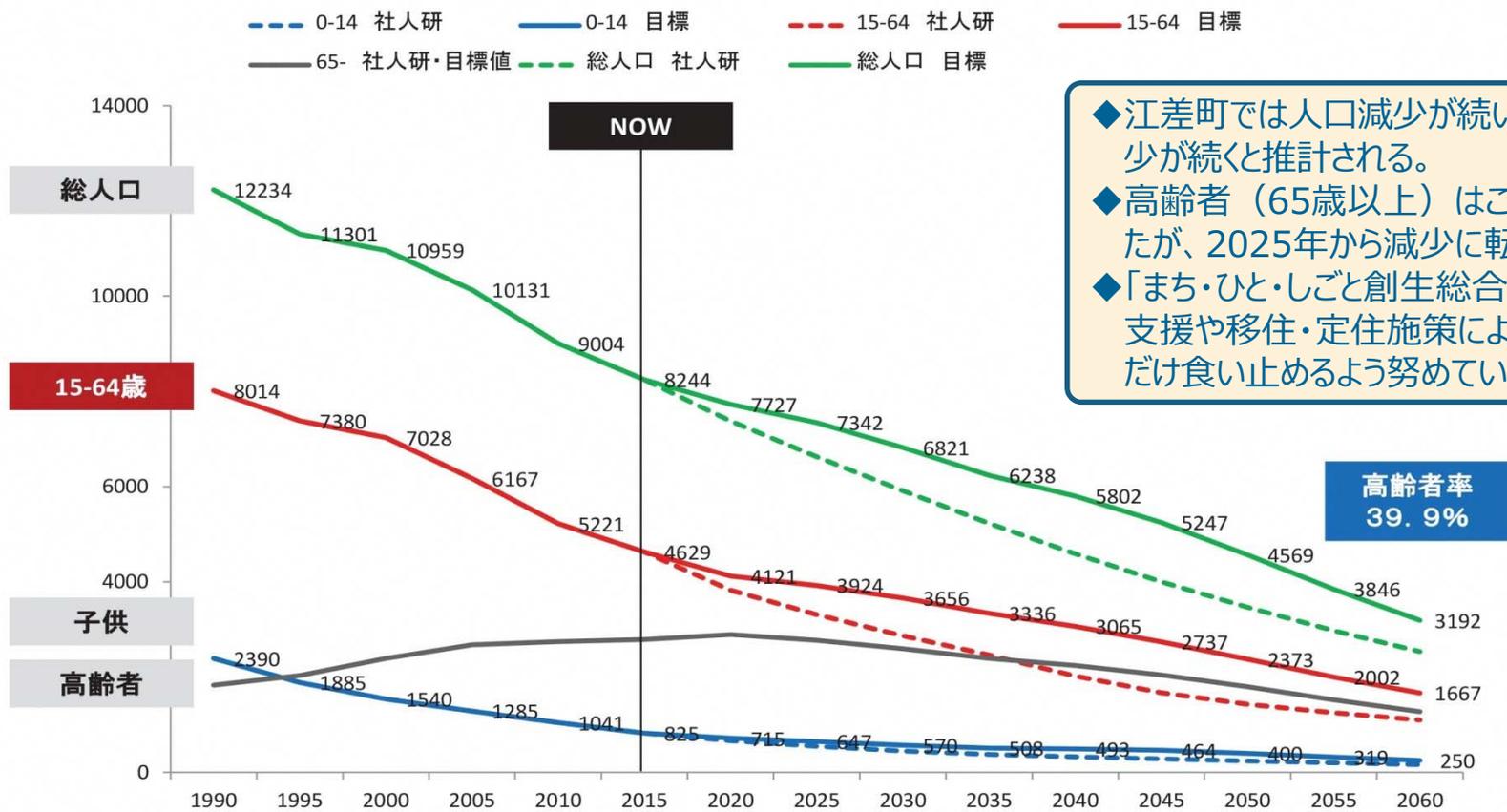


発表(約15分)

3. 話題提供：江差町の現状、まちづくり町民アンケート結果

(1) 江差町の現状(統計・データ等から)

【人口の推移と将来推計】

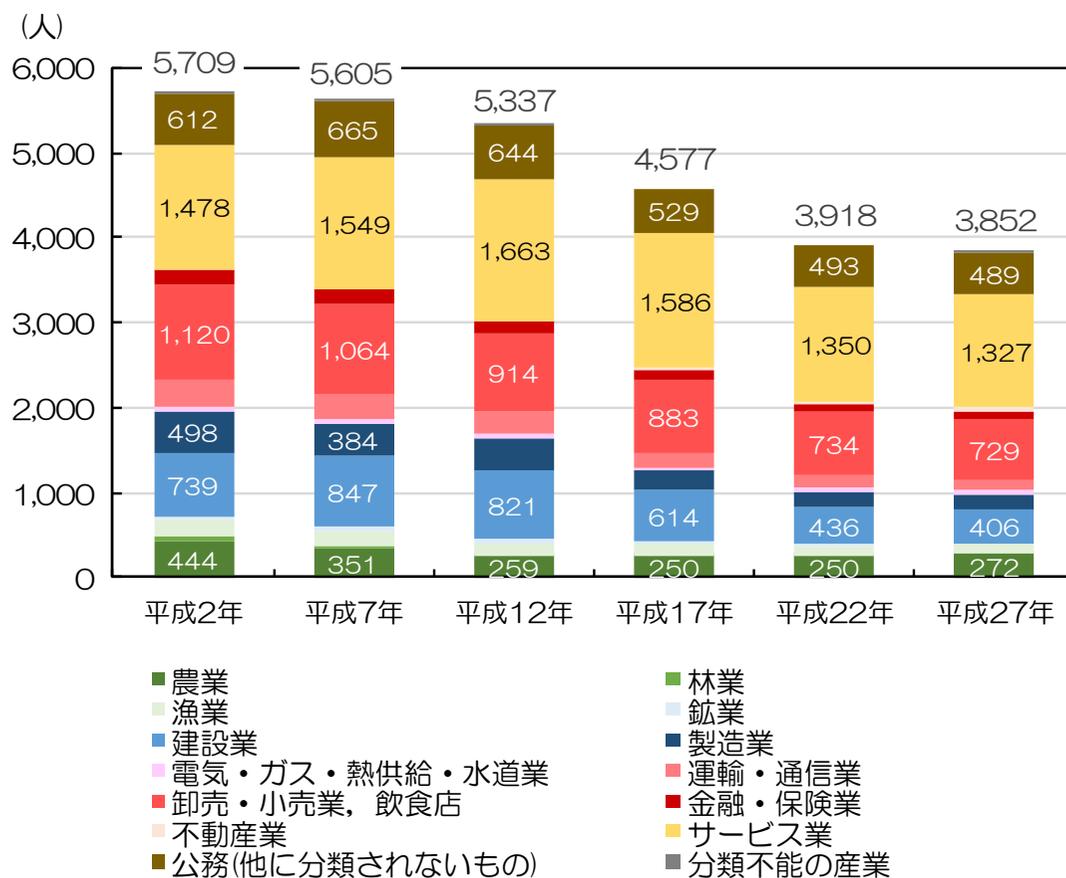


◆ 江差町では人口減少が続いており、今後も減少が続くと推計される。
 ◆ 高齢者（65歳以上）はこれまで増加していたが、2025年から減少に転じると推計される。
 ◆ 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」で、子育て支援や移住・定住施策により人口減をできるだけ食い止めるよう努めている。

図 江差町の将来人口推計

資料：江差町人口ビジョン

【産業構造】



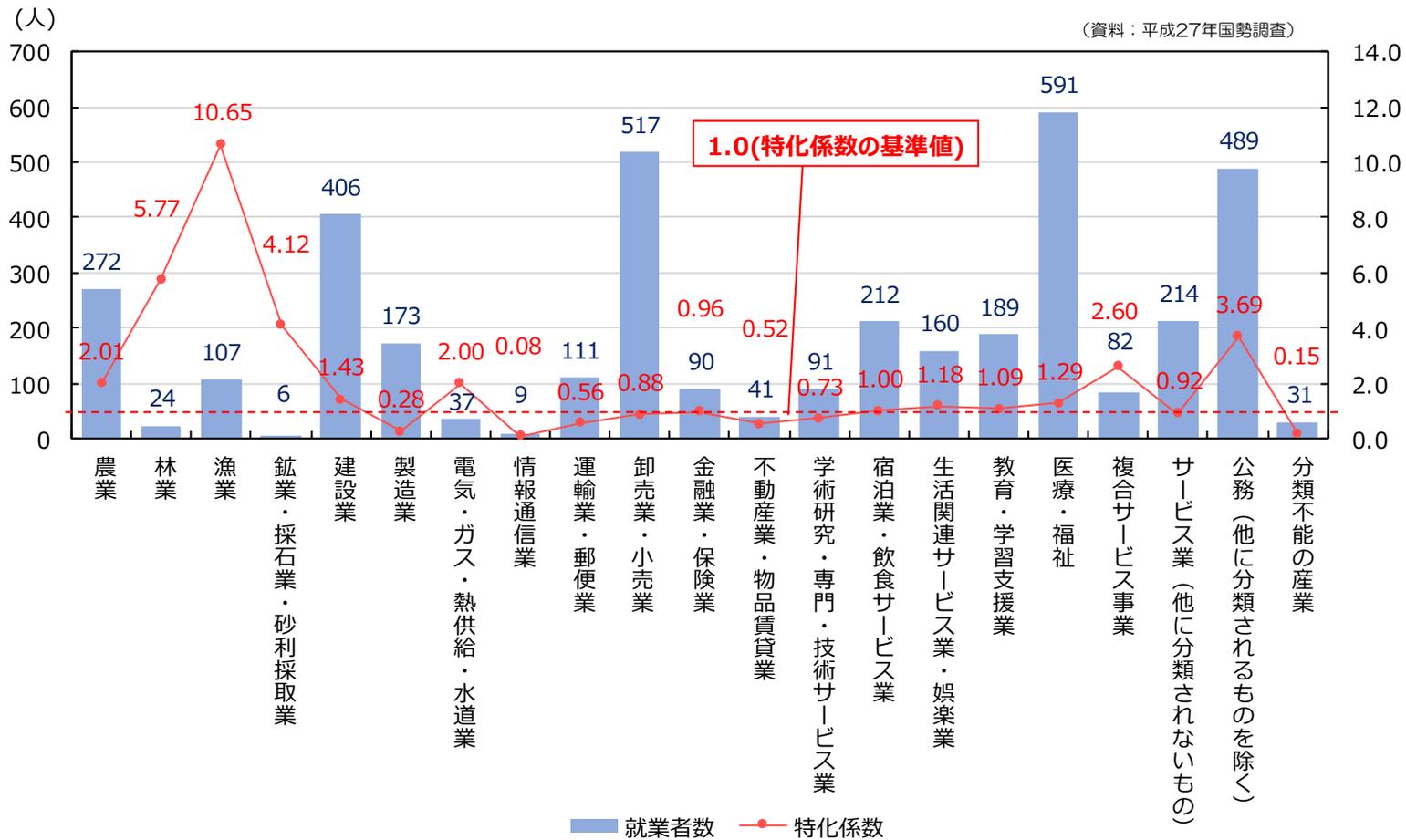
◆江差町の産業別就業者数は、平成2年には5,709人だが、減少傾向にあり、平成27年には3,852人となっている。

◆サービス業の就業者割合が最も大きく、34.4%、1,327人となっている。次に卸売小売業・飲食店の割合が多く18.9%、729人となっている。

資料：各年国勢調査

図 産業別就業者数の推移

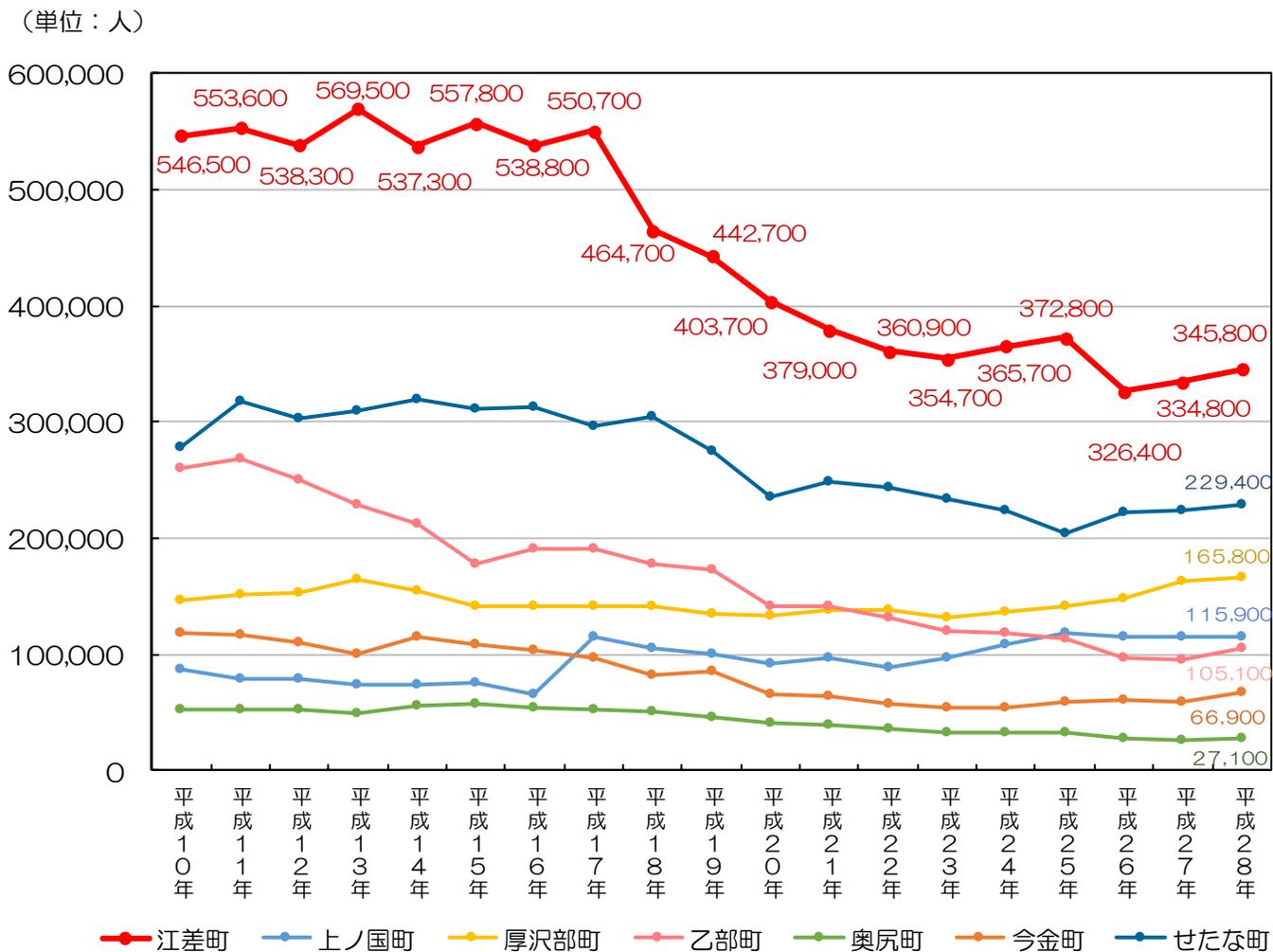
- ◆就業者数は減少、サービス業、卸売小売業・飲食店の就業者割合が高い。
- ◆産業別では医療・福祉の就業者数が最も多いが、漁業、林業の特化係数が高い。
- ◆年間商品販売額、製造品出荷額とも減少傾向。



資料：平成27年国勢調査

図 産業分類別就業者数と特化係数

◆江差町の観光入込客数は、檜山管内で最も多いが、平成10～17年に50万人台であったのに対し、ここ10年は30万～40万人台で推移しており、平成28年は34.6万人となっている。



資料：北海道観光入込客数調査

図 檜山管内の観光入込客数（平成10年～平成28年）

(2) まちづくり町民アンケート結果(抜粋)

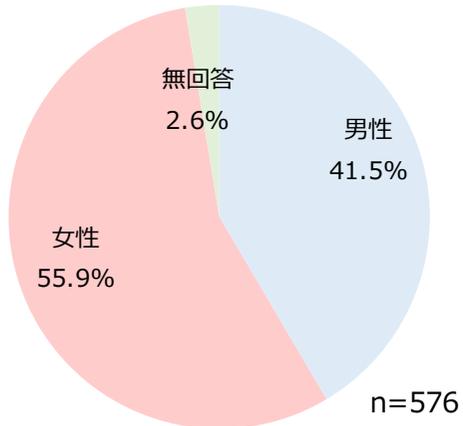
◆ 調査期間

平成30年6月27日
～7月18日

◆ 配布・回収状況

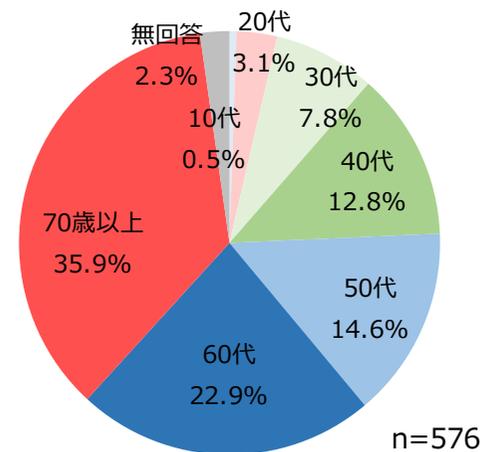
配布数	1,500票
回収数	576票
回収率	38.4%

【回答者性別】



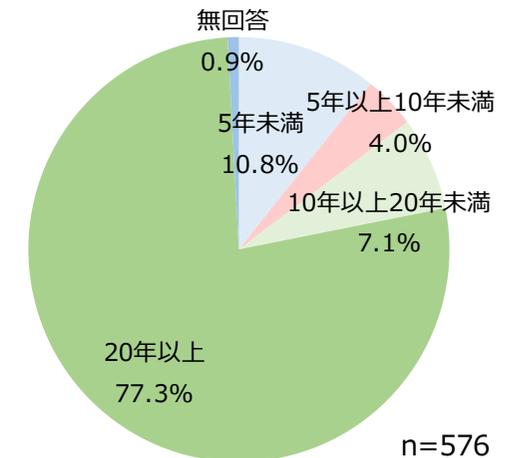
■ 男性 ■ 女性 ■ 無回答

【回答者年齢】



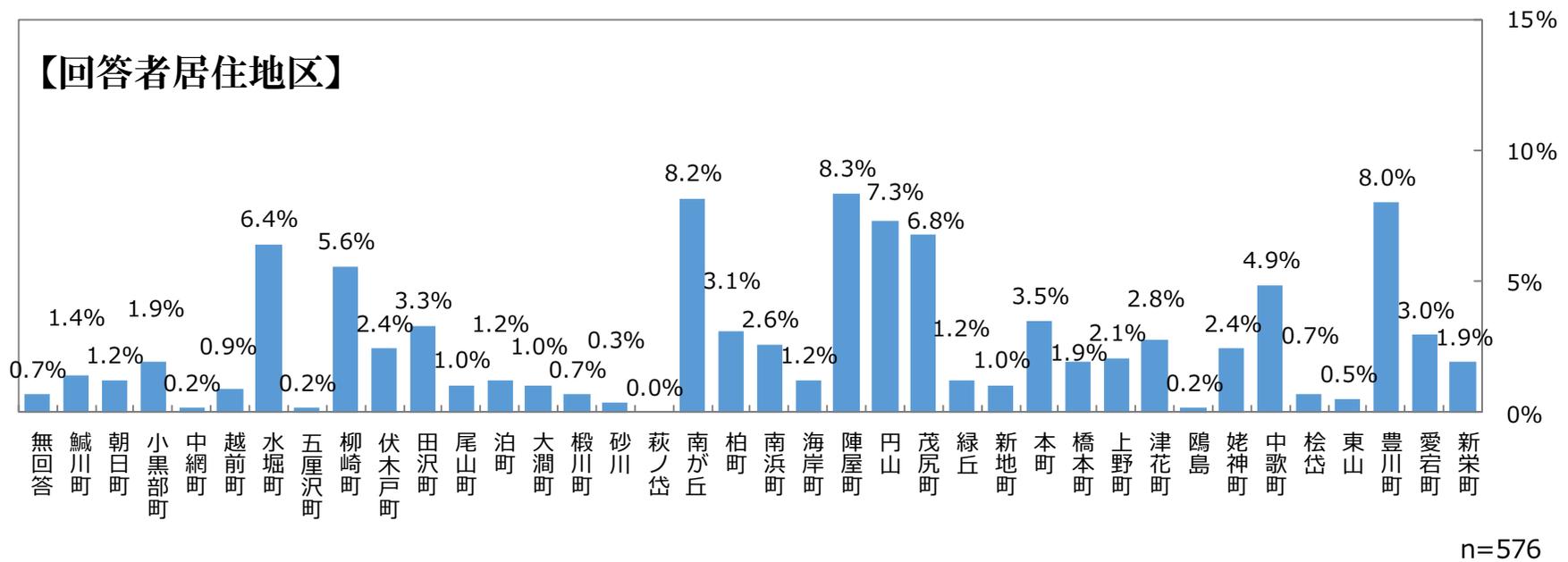
■ 10代 ■ 20代 ■ 30代
■ 40代 ■ 50代 ■ 60代
■ 70歳以上 ■ 無回答

【回答者居住年数】



■ 5年未満 ■ 5年以上10年未満
■ 10年以上20年未満 ■ 20年以上
■ 無回答

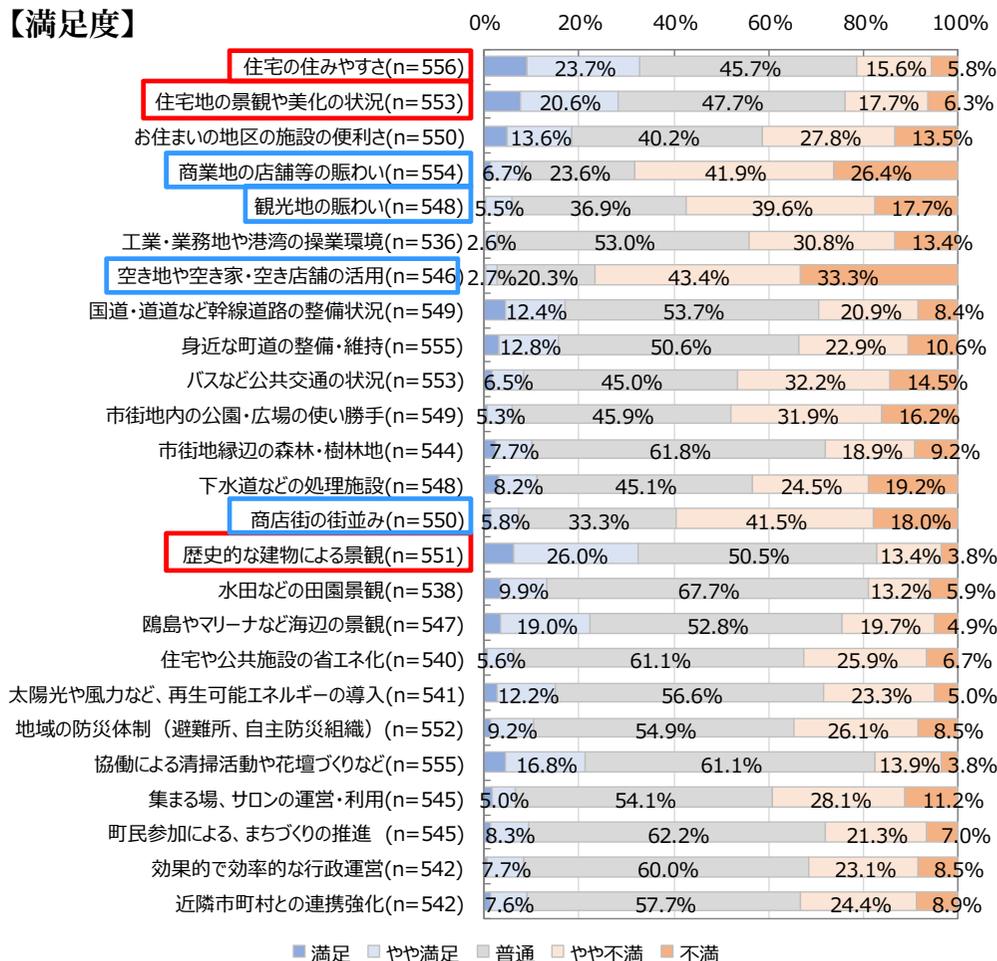
- 回答者の居住地区は、「陣屋町」が最も多く48人8.3%。次いで、「南が丘」が47人8.2%、「豊川町」が46人8.0%。



【問9】 現在江差町が進めているまちづくりについての満足度と将来のまちづくりに向けた重要度について、どのように感じているか教えてください。 <SA> (1~25の満足度それぞれ1つに○)

選択肢	満足	やや満足	普通	やや不満	不満
住宅の住みやすさ	51	132	254	87	32
住宅地の景観や美化の状況	42	114	264	98	35
お住まいの地区の施設の便利さ	27	75	221	153	74
商業地の店舗等の賑わい	8	37	131	232	146
観光地の賑わい	2	30	202	217	97
工業・業務地や港湾の操業環境	1	14	284	165	72
空き地や空き家・空き店舗の活用	1	15	111	237	182
国道・道道など幹線道路の整備状況	25	68	295	115	46
身近な町道の整備・維持	17	71	281	127	59
バスなど公共交通の状況	10	36	249	178	80
市街地内の公園・広場の使い勝手	4	29	252	175	89
市街地縁辺の森林・樹林地	13	42	336	103	50
下水道などの処理施設	17	45	247	134	105
商店街の街並み	8	32	183	228	99
歴史的な建物による景観	35	143	278	74	21
水田などの田園景観	18	53	364	71	32
鷗島やマリーナなど海辺の景観	19	104	289	108	27
住宅や公共施設の省エネ化	4	30	330	140	36
太陽光や風力など、再生可能エネルギーの導入	16	66	306	126	27
地域の防災体制（避難所、自主防災組織）	7	51	303	144	47
協働による清掃活動や花壇づくりなど	25	93	339	77	21
集まる場、サロンの運営・利用	9	27	295	153	61
町民参加による、まちづくりの推進	7	45	339	116	38
効果的で効率的な行政運営	4	42	325	125	46
近隣市町村との連携強化	8	41	313	132	48

【満足度】

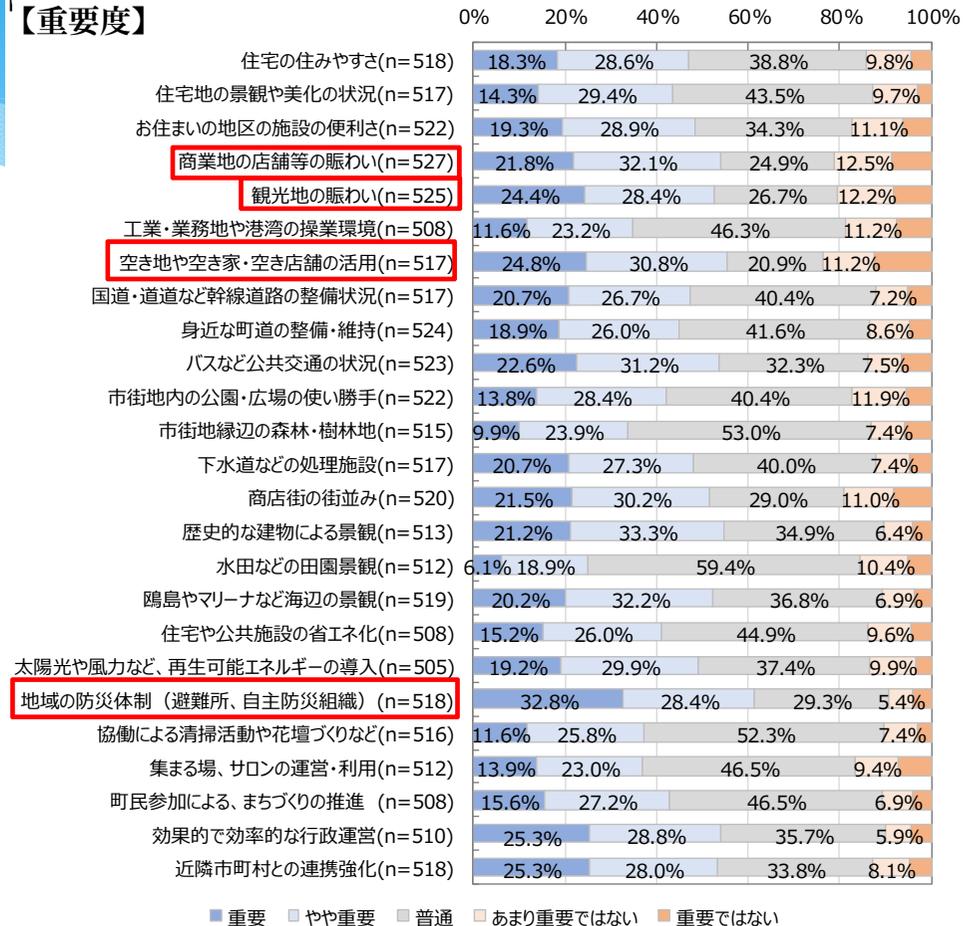


- まちづくりの項目について、満足度は、「ふつう」が最も多い。
- 満足度が高い項目は、「歴史的な建物による景観」、「住宅の住みやすさ」、「住宅地の景観や美化の状況」。
- 満足度の低い項目は、「空き地や空き家・空き店舗の活用」、「商業地の店舗等の賑わい」、「商店街の街並み」、「観光地の賑わい」。

【問9】 現在江差町が進めているまちづくりについての満足度と将来のまちづくりに向けた重要度について、どのように感じているか教えてください。 <SA> (1~25の満足度それぞれ1つに○)

選択肢	重要	やや重要	普通	あまり重要ではない	重要ではない
住宅の住みやすさ	95	148	201	51	23
住宅地の景観や美化の状況	74	152	225	50	16
お住まいの地区の施設の便利さ	101	151	179	58	33
商業地の店舗等の賑わい	115	169	131	66	46
観光地の賑わい	128	149	140	64	44
工業・業務地や港湾の操業環境	59	118	235	57	39
空き地や空き家・空き店舗の活用	128	159	108	58	64
国道・道道など幹線道路の整備状況	107	138	209	37	26
身近な町道の整備・維持	99	136	218	45	26
バスなど公共交通の状況	118	163	169	39	34
市街地内の公園・広場の使い勝手	72	148	211	62	29
市街地縁辺の森林・樹林地	51	123	273	38	30
下水道などの処理施設	107	141	207	38	24
商店街の街並み	112	157	151	57	43
歴史的な建物による景観	109	171	179	33	21
水田などの田園景観	31	97	304	53	27
鷗島やマリーナなど海辺の景観	105	167	191	36	20
住宅や公共施設の省エネ化	77	132	228	49	22
太陽光や風力など、再生可能エネルギーの導入	97	151	189	50	18
地域の防災体制（避難所、自主防災組織）	170	147	152	28	21
協働による清掃活動や花壇づくりなど	60	133	270	38	15
集まる場、サロンの運営・利用	71	118	238	48	37
町民参加による、まちづくりの推進	79	138	236	35	20
効果的で効率的な行政運営	129	147	182	30	22
近隣市町村との連携強化	131	145	175	42	25

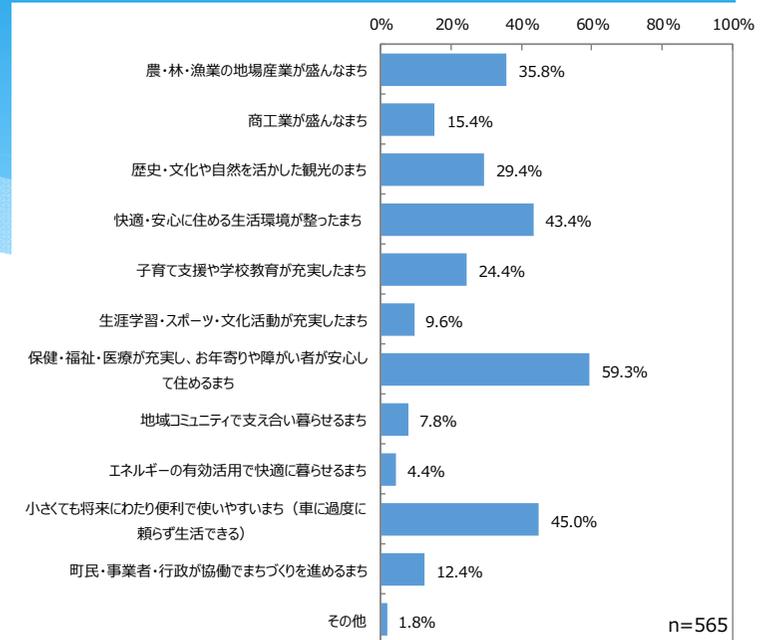
【重要度】



- まちづくりの項目について、重要度は、「ふつう」が最も多い。
- 重要度が高い項目は、「地域の防災体制（避難所、自主防災組織）」、「空き地や空き家・空き店舗の活用」、「商業地の店舗等の賑わい」、「観光地の賑わい」。
- 重要度が高いが、満足度が低い項目は、「空き地や空き家・空き店舗の活用」、「商業地の店舗等の賑わい」、「商店街の街並み」。

【問12】 今後、江差町がどのような町であってほしいと考えますか。<SA>（優先的に望むもの3つに○）

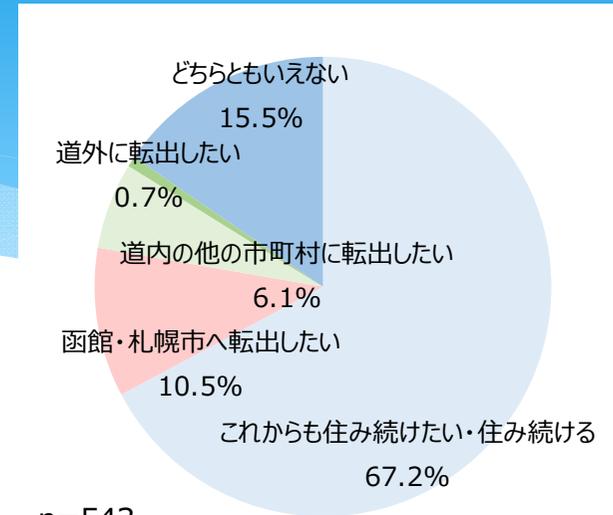
選択肢	回答数	構成比
農・林・漁業の地場産業が盛んなまち	202	35.8%
商工業が盛んなまち	87	15.4%
歴史・文化や自然を活かした観光のまち	166	29.4%
快適・安心に住める生活環境が整ったまち	245	43.4%
子育て支援や学校教育が充実したまち	138	24.4%
生涯学習・スポーツ・文化活動が充実したまち	54	9.6%
保健・福祉・医療が充実し、お年寄りや障がい者が安心して住めるまち	335	59.3%
地域コミュニティで支え合い暮らせるまち	44	7.8%
エネルギーの有効活用で快適に暮らせるまち	25	4.4%
小さくても将来にわたり便利で使いやすいまち（車に過度に頼らず生活できる）	254	45.0%
町民・事業者・行政が協働でまちづくりを進めるまち	70	12.4%
その他	10	1.8%
回答者数	565	



- ・江差町に望むものは、「保健・福祉・医療が充実し、お年寄りや障がい者が安心して住めるまち」が最も多く、335人59.3%。
- ・次いで、「小さくても将来にわたり便利で使いやすいまち（車に過度に頼らず生活できる）」は、254人45.0%、「快適・安心に住める生活環境が整ったまち」は、245人43.4%と3番目に多く、「農・林・漁業の地場産業が盛んなまち」は、4番目に多く、202人35.8%。

【問13】 これからも江差町に住み続けたいと思いますか。〈SA〉（1つに○）

選択肢	回答数	構成比
これからも住み続けたい・住み続ける	365	67.2%
函館・札幌市へ転出したい	57	10.5%
道内の他の市町村に転出したい	33	6.1%
道外に転出したい	4	0.7%
どちらともいえない	84	15.5%
合計	543	100.0%

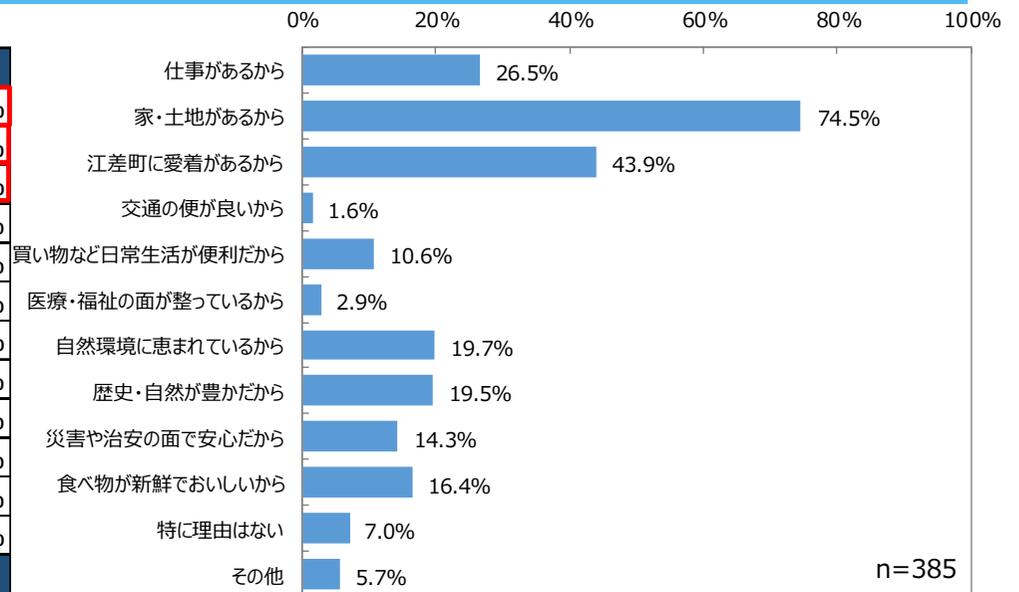


- これからも住み続けたい・住み続ける
- 函館・札幌市へ転出したい
- 道内の他の市町村に転出したい
- 道外に転出したい
- どちらともいえない

・居住の意向について、「これからも住み続けたい・住み続ける」が最も多く、365人67.2%。

【問13-1】 問13の①を選んだ方にお聞きします。江差町に住み続けたい理由は何ですか。
<MA> (あてはまる全てに○)

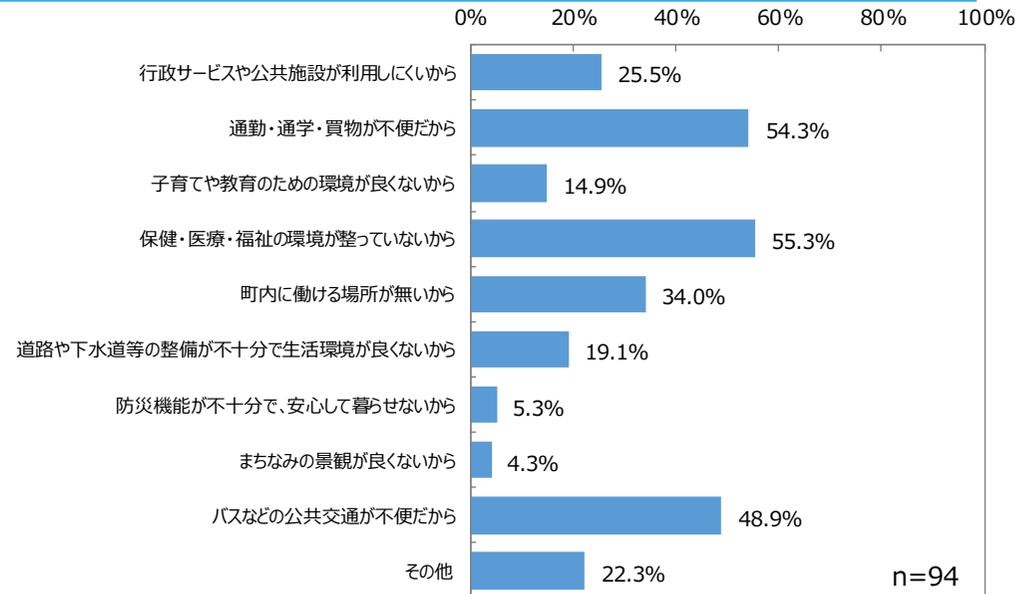
選択肢	回答数	構成比
仕事があるから	102	26.5%
家・土地があるから	287	74.5%
江差町に愛着があるから	169	43.9%
交通の便が良いから	6	1.6%
買い物など日常生活が便利だから	41	10.6%
医療・福祉の面が整っているから	11	2.9%
自然環境に恵まれているから	76	19.7%
歴史・自然が豊かだから	75	19.5%
災害や治安の面で安心だから	55	14.3%
食べ物が新鮮でおいしいから	63	16.4%
特に理由はない	27	7.0%
その他	22	5.7%
回答者数	385	



- 江差町に住み続けたい理由は、「家・土地があるから」が最も多く、287人74.5%。
- 次に、「江差町に愛着があるから」が2番目に多く、169人43.9%、「仕事があるから」は、102人26.5%と3番目に多い。

【問13-2】 問13の②、③、④を選んだ方にお聞きします。別の場所に移りたい理由は何ですか。
<MA> (あてはまる全てに○)

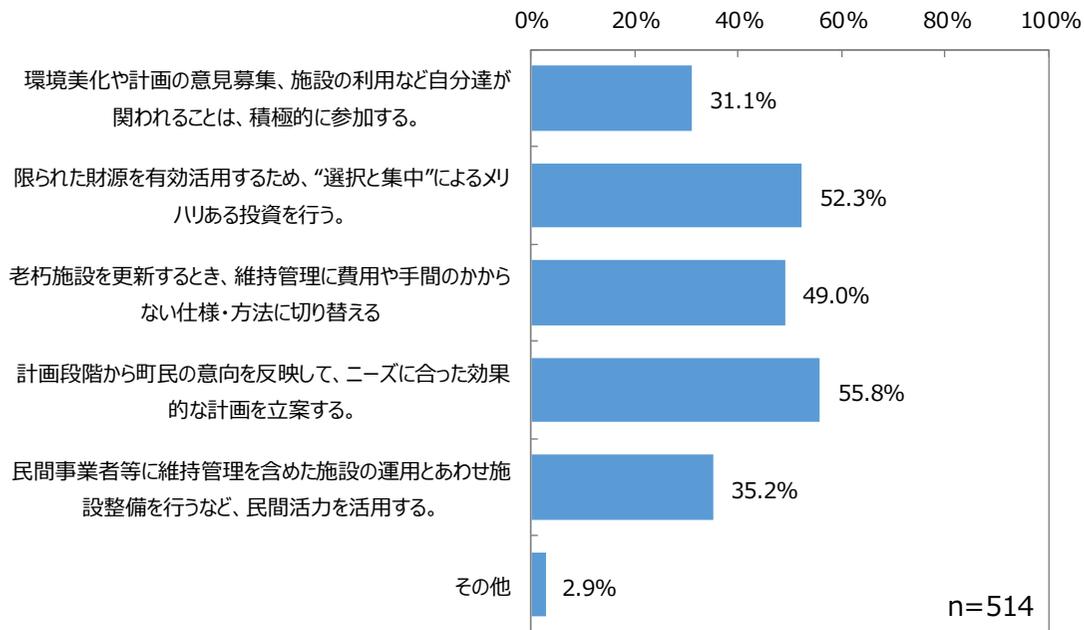
選択肢	回答数	構成比
行政サービスや公共施設が利用しにくいから	24	25.5%
通勤・通学・買物が不便だから	51	54.3%
子育てや教育のための環境が良くないから	14	14.9%
保健・医療・福祉の環境が整っていないから	52	55.3%
町内に働ける場所が無いから	32	34.0%
道路や下水道等の整備が不十分で生活環境が良くないから	18	19.1%
防災機能が不十分で、安心して暮らせないから	5	5.3%
まちなみの景観が良くないから	4	4.3%
バスなどの公共交通が不便だから	46	48.9%
その他	21	22.3%
回答者数	94	



- 別の場所に移りたい理由は、「保健・医療・福祉の環境が整っていないから」が最も多く、60人56.1%。
- 次いで、「通勤・通学・買い物が不便だから」が多く、55人51.4%、「バスなどの公共交通が不便だから」が49人45.8%。

【問25】 将来にわたって住み続けられる江差町を実現するため、今後求められるまちづくりの進め方は、どのようなものだと思いますか。〈MA〉（いくつでも○）

選択肢	回答数	構成比
環境美化や計画の意見募集、施設の利用など自分達が関わられることは、積極的に参加する。	160	31.1%
限られた財源を有効活用するため、“選択と集中”によるメリハリある投資を行う。	269	52.3%
老朽施設を更新するとき、維持管理に費用や手間のかからない仕様・方法に切り替える	252	49.0%
計画段階から町民の意向を反映して、ニーズに合った効果的な計画を立案する。	287	55.8%
民間事業者等に維持管理を含めた施設の運用とあわせ施設整備を行うなど、民間活力を活用する。	181	35.2%
その他	15	2.9%
回答者数	514	



- 今後求められるまちづくりの進め方は、「計画段階から町民の意向を反映して、ニーズに合った効果的な計画を立案する」が最も多く、287人55.8%。
- 次に、「限られた財源を有効活用するため、“選択と集中”による“メリハリある投資を行う」が多く、269人52.3%。
- 「老朽施設を更新するとき、維持管理に費用や手間のかからない仕様・方法に切り替える」が3番目に多く、252人49.0%。